

令和2年6月22日

第2期
一般社団法人渋谷未来デザイン
事業報告書

自 令和元年（2019年）4月 1日
至 令和2年（2020年）3月31日

目次

1 現況に関する事項	2
2 事業活動に関する事項	2
(1) 事業の概況	2
(2) 主な事業の状況と成果	4
① 創造文化都市事業	4
② スマートシティ事業	5
③ エリアマネジメント研究事業	7
④ アーバンスポーツ事業	8
⑤ パブリックスペース研究事業	9
⑥ ダイバーシティ&インクルージョン事業	11
⑦ 渋谷区公認スーベニア事業	13
⑧ 都市間連携事業	14
⑨ 情報発信事業	15
⑩ 新規事業研究	16
3 パートナー企業に関する事項	16
4 会員に関する事項（確認中）	17
5 役員に関する事項	17
6 Future Designer に関する事項	18
7 会議に関する事項	19

1 現況に関する事項

一般社団法人渋谷未来デザイン（以下 FDS と略記）は、渋谷区基本構想で示した渋谷の将来像を実現するため、渋谷区を拠点とし、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など、渋谷に集う多様な人々のアイデアや才能を、領域を越えて収集し、オープンイノベーションにより社会的課題の解決策をデザインする組織として、調査研究、計画立案、実践の推進およびこれらの支援等を行うことを目的とし、各事業を実施しました。

第 2 期目となる令和元年度は、昨年度に引き続き、FDS の認知向上とまちづくり事業を主に渋谷区内で進めてきました。主要事業となる Social Innovation Week Shibuya2019 事業を通じて、多くの企業から FDS の事業活動に関心をいただくことになり、まちづくり推進だけではなく、会員企業の獲得にも寄与した年度でした。

第 2 期は、上記 5 領域の事業推進と新規事業獲得を担える体制作りを行い、3 億 1,047 万円の経常収益（売上高）となり、計画予算額を上回る結果となりましたが、経常費用が計画値を大幅に超え、最終決算は 6,194 万円の損失となりました。次年度は、渋谷区の課題や国や東京都の動向を踏まえ、新しい生活様式が求められる社会背景をチャンスととらえた新規案件の獲得と、経常経費の大幅な見直しをしながら、バランスのとれた収支決算を目指しながらも、新しい事態に向けてチャレンジしてまいります。

2 事業活動に関する事項

（1）事業の概況

FDS が実施した第 2 期事業は、表 1 に示された 5 つの事業領域に大別されます。主な受託事業は、渋谷区からの都市政策に関する内容、エリアマネジメント研究や ICT 推進関連事業などの調査研究事業を行いました。

また自主事業は FDS が中心となり、渋谷のお土産プロジェクトや、東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ写真展の開催、スクランブル交差点等での新技術実証実験や Wi-Fi 整備事業など、渋谷のブランド力を強化するための事業でした。

表 1 FDS の事業体系

事業分野	プロジェクト名
創造文化都市事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 創造文化都市渋谷の実現にむけた計画策定 ● ナイトタイムエコノミー活性化事業 ● 渋谷5Gエンタテインメント事業
スマートシティ事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 5Gを活用した社会実験 ● 区内デジタルインフラ整備 ● データアナリティクス研究 ● 渋谷区環境基本計画啓発事業
エリアマネジメント研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ササハタハツのエリアマネジメント ● 神南1丁目エリアのエリアマネジメントの研究
アーバンスポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ストリートスポーツ“NEXT GENERATIONS”（一部） ● オリンピック・パラリンピック啓発活動
パブリックスペース研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 渋谷川第二区間利活用 ● SCRAMBLE STADIUM SHIBUYA ● 公共空間での情報発信 ● 公共空間利活用研究
ダイバーシティ&インクルージョン事業	<ul style="list-style-type: none"> ● Social Innovation Week Shibuya (SIW) 2019 ● 市民発事業創出 ● 大学・学生連携 ● 法人会員制度 ● 次世代子育てプロジェクト
渋谷区公認スーベニア事業	<ul style="list-style-type: none"> ● LINE スタンプ ● SHIBUKURO ● 体験型お土産
都市間連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島県都市間連携 ● 深圳市南山区都市間連携 ● 札幌市都市間連携 ● 先進都市視察・研究
情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信・広告宣伝 ● 広告イベント案件
新規事業研究	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規・防災プロジェクト

(2) 主な事業の状況と成果

① 創造文化都市事業

(i) 渋谷区が目指す創造文化都市渋谷の実現にむけた計画策定

渋谷区の「渋谷駅周辺地域における創造文化都市形成に向けた方策検討業務」を受注し、都市計画手法と連動するまちづくり手法の運用方法を検討しました。

国の施策である「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成するため、渋谷区は「ウォークアブル推進都市」に賛同し、創造文化都市の実現を目指す。そのなかで、大中小規模の建物に多機能が混在し、渋谷らしさを継続発展する都市計画手法を検討するとともに、まちづくり活動推進事業も包含したインフラ整備プラットフォームの考え方を提案しました。

次年度は、区が主体となりエリアごとの地域合意形成を推進するとともに、渋谷未来デザインは地域と連携した社会実験等を検討していきます。

(ii) ナイトタイムエコノミー活性化事業

渋谷の夜間経済振興のためのまちづくり機運醸成のため、3日間にわたるイベントを実施しました。11月5日(火)～11月7日(木)にトークセッションを開催、「東京・渋谷から夜の経済振興・文化振興」をテーマに、様々な議論の場と体感プロジェクトを通じて“東京のナイトカルチャー”を考える一週間を用意しました。

表 2 WHITE NIGHT WEEK SHIBUYA

日付	内容
2019年11月3日(日・祝前)	SHIBUYA ENTERTAINMENT FESTIVAL 2019
2019年11月1日(金)～11月4日(日)	TOKYO MUSIC NIGHT OUT
2019年11月8日(金)～11月10日(日)	WHITE NIGHT PLAYGROUND
2019年11月8日(金)～11月10日(日)	INVISIBLE ART IN PUBLIC

(iii) 渋谷5Gエンタテインメント (# SCRAMBLE Creative Growth Shibuya)

5G時代を見据え、主にエンタテインメントに特化したテクノロジーを駆使し、渋谷の街をより面白くしていくため、KDDI株式会社、一般財団法人渋谷区観光協会そしてFDSの三者でプロジェクトを立ち上げました。音楽・アートといったエンタテインメント領域を中心に、新たな文化の創出や観光面での魅力的な街づくりを推進しました。

表 3 渋谷5Gエンタテインメント事業

日付	内容
2019年9月	「Social Innovation Week Shibuya」へ参加・発足発表 「第一回渋谷5Gエンタメテック推進会議」実施 VPSを使った実証実験を実施
2019年10月	「渋谷音楽祭」への参加 音のAR「Audio Scape」の開発と実証実験実施
2019年11月	「White Night Week Shibuya」への参加 「第二回渋谷5Gエンタメテック推進会議」実施 ARアート施策、「Invisible art in Public」展 Vol.1 の実施 「Audio Scape」の技術を使い、「Coldplay」新曲を配信
2019年12月	「MUTEK」特別協力として参加 「Invisible art in Public」展 Vol.2 としてARアート展を実施 XRアート展「NewView」共催、「AKIRA」ARアート展開催

② スマートシティ事業

(i) 5Gを活用した社会実験

渋谷×広島 5G遠隔ダンスレッスン 2019年11月9日(土)13:00~14:30

渋谷未来デザイン×ひろしまサンドボックス×NTTdocomo

@ 渋谷スクランブルスクエア第I期(東棟)15階 SHIBUYA QWS

@イノベーション・ハブ・ひろしま Camps

(ii) 区内デジタルインフラ整備事業

渋谷区実施計画 2017 に掲げる「世界へ発信する観光の振興 公共無料観光Wi-Fiの整備の推進」に基づき、社会インフラとしてのWi-Fiを快適に利用できる環境整備を目的として、区内公共空間を中心にWi-Fi端末を設置しています。

今年度はより快適なWi-Fi利用の環境整備及び収益源となる広告モデルの社会実証実験を進めることを目指し、Wi-Fi利用時のUIの改善や接続状況の改善を実施しました。また、設置エリアの拡大を目的に、自動販売機との連携事業を継続しました。エリアマネジメント研究事業での実証実験施設への2台設置、自動販売機の1台設置を行い、計44施設のWi-Fiインフラ整備を実施しました。

(iii) データアナリティクス研究

渋谷区及び東京大学と協力し、産官学民のデータを掛け合わせ、社会課題に対する新たな知見や解決策を提供する基盤として、データコンソーシアム構想を企画しました。民間企業からのデータコンソーシアムへの参加者を募るための説明会、データに関する知見を

深めるための勉強会を実施しました。また、スマートシティの先進都市であるバルセロナ市を視察し知見を深めました。

次年度は、データコンソーシアムを立ち上げ、定期的に勉強会を実施するとともに、産官学民のデータを活用した社会課題の解決策を社会に実装していきます。

表 4 データアナリティクス研究主な活動

日付	内容
2019年10月2日(水)10月23日(水)	データコンソーシアムに関する説明会
2019年11月18日(月)～11月21日(木)	バルセロナ市察
2020年1月23日(木)	第1回データコンソーシアム勉強会
2019年3月19日(木)	第2回データコンソーシアム勉強会

(iv) 渋谷区環境基本計画啓発事業

2018年4月に渋谷区が制定した環境基本計画に位置づけられているリーディングプロジェクトを推進するため、市民や事業者等と連携したメニューの開発研究や、環境省都の連携事業の可能性を検討しました。

本年度は、渋谷区環境政策課より環境シンポジウム開催業務を受託し、区民、事業者そして大学を巻き込んだ、地球温暖化の現状や地域の課題を一緒に考えるシンポジウムを開催しました。

表 5 環境基本計画啓発事業主な活動

日付	内容
2019年8月27日(火)	場所：旧笹塚敬老館（渋谷区笹塚 1-28-12） <基調講演>千種ゆり子（気象予報士） <パネラー>戸所信貴（一般社団法人TEN-SHIP アソシエーション代表理事、社会福祉士・主任介護支援専門員）、村上佑太（渋谷区観光協会）
2019年8月31日(土)	場所：津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス <基調講演>尾崎朋美（気象予報士） <パネラー>傍嶋賢（一般社団法人CLEAN&ART代表理事）、岡崎千治（千駄ヶ谷大通り商店街振興組合理事）
2020年2月15日(土)	場所：國學院大學渋谷キャンパス総合学修館 <基調講演>林家まる子・カレー子（環境漫談師）

	<パネラー> 古沢広祐（國學院大學経済学部教授）／宮内元子（渋谷区ふれあい植物センター園長）
--	--

③ エリアマネジメント研究事業

(i) ササハタハツのエリアマネジメント

渋谷区より「旧笹塚敬老館利活用実証実験」業務を受託しました。これまで渋谷区の敬老館としての機能を持っていた施設を「まちのリビング」として、だれもが自由に利用できる施設として、2020年7月8日～9月30日までの毎日計85日間、午前9時～午後9時まで解放し、継続的な利用の検討を行いました。

25種類のプログラムを計38日間開催し、来館者は累計3,022人となりました。評価にあたり計測、観察、アンケート、ヒアリングを実施、多くの地域区民から継続利用の要望をいただきました。今後も、区内地域ごとの常設型の居場所について、継続した実証実験を検討していきます。

表 6 ササハタハツのエリアマネジメント研究主な活動

課題設定	得られた知見等
社会的な孤立に陥ることを予防するための場としての可能性	障がいや病気など、異なる立場や状況の人々が出会う場としての可能性について検証し、常設型の居場所の潜在的な利用ニーズがあると確認した。

(ii) 神南1丁目エリアのエリアマネジメントの研究

渋谷公園通商店街振興組合の公園通りビジョンに関するワークショップ運営支援およびアドバイス業務を受注し、ワークショップを2回開催しました。

地域の動きをみすえ、公園通りエリアとして何をすべきかを考え、それに必要な将来像を検討しました。参加者のエリアマネジメントに対する興味・意識の向上を図り、目標（ゴールと手段）を共有しました。

次年度も引き続き、地域発意のエリアマネジメント検討を支援していきます。

④ アーバンスポーツ事業

(i) ストリートスポーツ“NEXT GENERATIONS”

2018年度FDSが中心となって発足したNEXT GENERATIONS実行委員会は今年度、中学生以下を対象としたコンペティションとワークショップ等を開催しました。

今後は若年層であるU15に焦点を絞ったストリートスポーツコンペティションの実施を基軸に、体験イベントやスクール事業も見据えた包括的なプロジェクトを目指します。

表7 ストリートスポーツ“NEXT GENERATIONS”主な活動

日付	内容
2019年9月21日(土)～22日(日)	場所：渋谷ストリーム稲荷橋広場 来場者延べ5,000人 3つのストリートスポーツ：スケートボード、ブレイキン、ダブルダッチのコンペティションとワークショップを開催
2019年11月4日(月・休)	場所：LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂) NEXT GENERATIONS ALL STARS feat. SUPER BAD & Happy Rock を開催
2019年11月9日(土)～10日(日)	場所：代々木公園 「東京雪祭 SNOWBANK PAY IT FORWARD × HEROs FESTA2019」に参画(来場者延べ8万人) ・けん玉コンペティションとワークショップ開催 ・フリースタイル・バスケットボールのショーケースとワークショップ開催 ・スケートボードのワークショップ開催

(ii) オリンピック・パラリンピック啓発活動

2020年8月末、代々木公園で開催された「東京2020公認プログラム SHIBUYA FRIENDSHIP FESTIVAL 2019」(NHKエンタープライズ主催)、イベントに出展しました。

Social Innovation Week Shibuya 2019の情報発信や、障害者のブレイクダンサーと健常者とのワークショップの開催や、ストリートスポーツ“NEXT GENERATIONS”と連動した企画を実施しました。若年層だけでなく、多くの来場者に向けて多様性を受け入れるための啓発活動を行いました。

⑤ パブリックスペース研究事業

(i) 渋谷川第二区間利活用

渋谷リバーストリートの公益性と事業性を両立した管理と活用の仕組みの検討を目的として、渋谷リバーストリートにコンテナを3台設置。試験運用としてのアイデア収集では512のアイデア提案があり、アイデアの実現にあたっては投票を行い、30のアイデアを実現しました。

表 8 渋谷川第二区間利活用主な活動

日付	内容
2019年3月1日～3月31日	アイデア収集調査、試験運用
2019年4月1日～6月30日	現場実装
2019年7月1日～9月	評価・まとめ
2019年5月22日～8月30日	AI beaconによる人流調査、アンケート調査、行動調査

場所：渋谷リバーストリート2-1区間

コンテナ設置による人流の増（約50,000人/月）、コンテンツ導入による利用者増（約3,000人/日）が挙げられる。また、空間の活用に関しては、ハレ（非日常的なイベント）とケ（日常的な利用しやすさ）の両方を求められていることを確認しました。

さらに、イベント実施においては、事業性の確保から、協賛企業名の掲出がメリットとして考えられますが、公共空間における制約から困難でしたが、本実験を機に屋外広告条例の緩和等により、イベント毎に企業名が掲出できる等、環境の改善をすることができました。今後は実施場所を含め、さらなる社会実験を検討していきます。

(ii) スクランブルスタジアム渋谷 SCRAMBLE STADIUM SHIBUYA

昨年度より引き続き、都市公園の新しいあり方を研究するため、渋谷に新しいスポーツ拠点の導入について、渋谷にかかわる多様な主体とともに検討を進めました。

表 9 スクランブルスタジアム渋谷主な活動

日付	内容
2019年4月16日(火)	第6回イベント ワークショップ『意見交換会』～代々木公園と地域の未来～
2019年9月7日(土)	第7回イベント ワークショップ「みんなで作る、理想の公園」
2019年9月22日(日)	・第8回イベント シンポジウム「公園空間がつくる新しい価値」 池田省治(株式会社オフィスショウ 代表取締役)/小柳ルミ子(歌手、女優)/馬場浩史(株式会社NTTドコモ スポーツ&ライブビジネス推進室長)/平田正俊(Perform Investment Japan 株式会社 ヴァイスプレジデントアクティベーション)/佐々木紀彦(株式会社ニュースピックス 取締役 新規事業担当)/夏野剛(株式会社ドワンゴ 代表取締役社長、慶應義塾大学 政策・メディア研究科 特別招聘教授)/長谷部健(渋谷区長)/間野義之(早稲田大学スポーツ科学学術院教授、博士)
2019年10月24日(火)	第9回イベント シンポジウム「街とサッカースタジアムの幸せな関係」 アーセン・ヴェンゲル/大金直樹(FC東京 代表取締役社長)/羽生英之(東京ヴェルディ 代表取締役社長)/岡田武史(FC今治 代表取締役会長)
2020年2月13日(木)	第10回イベント シンポジウム「都市公園とパブリックスペースの未来」 笹原優子さん(株式会社NTTドコモ イノベーション統括部 グロース・デザイン担当 担当部長)、水口哲也さん(エンハンス代表/シナスタジアラボ主宰/エッジ・オブ共同創業者兼取締役 CCO)、吉村有司さん(建築家/東京大学先端科学技術研究センター特任准教授)

(iii) 公共空間での情報発信

公共空間上のパブリックアートのあり方と屋外広告の関係整理を進めました。特に渋谷川第二区間での、屋外広告物規制の整理と環境改善や、エリアマネジメントとの連携を協議検討しました。

(iv) 公共空間ビジョン策定（公共空間利活用研究）

多様性（ダイバーシティ）と包摂（インクルージョン）をはぐくむ空間の実現を狙いとして公共空間ビジョンを策定しました。また策定の過程で、FDSが行う空間価値デザインに係る個々の取組に横櫛を挿し、相互の意義や役割を整理するとともに相乗効果を高めることを目指しました。また明治大学理工学部建築学科建築・アーバンデザイン研究室との共同研究を実施し連携を行いました。

次年度はビジョンに描くケーススタディにおけるアクションの一部実施を目指すため、渋谷駅周辺地域の関係者や事業者、渋谷区へのヒアリング等を実施していきます。

表 10 公共空間ビジョン策定主な活動

日付	内容
2019年9月30日	ラージスケール（宮益坂）とスモールスケール（JR高架下）の公共空間ケーススタディを取り纏め、9月20日 Social Innovation Week Shibuya 2019 で発表。公共空間ビジョン（案）を渋谷区へ提案。

※公共空間ビジョンは、渋谷らしい公共空間の使い方を実験し(Temporary)、検証を経て恒久的な整備や制度化を行い(Permanent)、それによって周辺のまち・土地利用・コミュニティ等に望ましい影響を与えエリア価値が向上していく(Spread)、このロールモデルを「シブヤ系公共空間整備・利活用モデル」として提案するもの。

⑥ ダイバーシティ & インクルージョン事業

(i) Social Innovation Week Shibuya2019

渋谷～原宿～表参道エリアを中心に、「多様な未来を考える 12日間」として多拠点でカンファレンスや体験プログラムが開催される都市回遊型イベントを開催しました。

今年のテーマは『NEW RULES. ～新しい価値観～』とし、2019年9月11日～22日に実施しました。

SIW2019では、Learning、Networking、Experienceの3つの軸で20会場、109のプログラムを展開、区民のみならず多くの参加がありました。

来場者数：約5万人

主催：SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA 実行委員会（FDSが事務局）

共催：渋谷区

会場：朝日新聞社メディアラボ渋谷分室、EDGEof、NT 渋谷ビル、表参道ヒルズ、café

1886 at Bosch、國學院大學、国際連合大学、渋谷キャスト、渋谷区文化総合センター大和田、渋谷区役所、渋谷ストリーム、SHIBUYA TSUTAYA、渋谷ヒカリエ、subaCO、善光寺、DAZN CIRCLE、東急プラザ大手参道原宿、代々木公園、(連携スポット) eplus LIVING ROOM CAFÉ & DINNIG、COCONUT GLEN'S 表参道店、DJ Bar 東問屋

(ii) 市民発事業創出

Social Innovation Week Shibuya2019 と連携して、イベント内で市民アワードを行いました。

(iii) 大学・学生連携

FDS の基本方針にもある、社会課題解決に向けたオープンイノベーションを加速させるため、大学・学生連携を推進しました。

今年度は渋谷川第二区間利活用事業や、ササハタハツのエリアマネジメント事業などにおいて、学生ボランティアによる事業サポートの体制を構築しました。

また、SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA では、学生独自のコンテンツの企画、発表を行い学生との主体的な参加を推進しました。

次年度に向けて、FDS と大学との更なる連携強化、協力関係の明確化を目的とした大学会員の設置に向けた検討を進めます。

(iv) 法人会員制度

民間企業とのオープンイノベーションによる社会課題解決を目的として 2018 年 8 月に運営を開始しました。FDS の実施する各プロジェクトに参画いただき、実証実験の実施やイベント開催の協力等、様々な連携により社会課題の解決を促進しました。また、パートナー懇親会や会員交流会を実施し、情報共有の場を設けたことで、会員同士あるいは FDS との相互のネットワーキングを強化することができました。

上記取組みを通じて、本年度末で特別正会員 9 社、正会員 21 社、賛助会員 4 社、計 34 社（昨年対比+26 社）のご理解とご協力を得ることができました。

(v) 次世代子育て研究

2021年の8月に本格稼働を予定している「渋谷区子育てネウボラ」のファーストステージとしてネウボラの一部事業が美竹分庁舎で先行開始されました。

渋谷区はターゲットとなる「子育て中もしくは子育てに関心のある渋谷区民」に対して、渋谷区独自の取り組みや、まだ馴染みのない「ネウボラ」という言葉に興味をもってもらい、その考え方やサービスについてわかりやすく紹介するための取組を実施しました。

FDSはこの事業の支援及び企画運営を受託し実施するとともに、本格稼働を視野に様々なコンテンツの検討や実証実験を実施しました。

表 11 次世代子育て研究主な活動

日付	内容
2019年9月	渋谷区子育てネウボラアンバサダー制度の提案 若槻千夏就任及び就任後のアンバサダー活動支援
2019年6, 9, 10月	渋谷区子育てネウボラ周知イベントの実施 3回 6月9日 9月20～22日（SIW内ネウボラ関連イベント）、 10月6日・1月26日
2019年11月22日	実証実験「夫婦一緒に考える妊活」の実施
2020年3月	既存保健所事業の改善策の協議・検討・実証実験の実施

㉞ 渋谷区公認スーベニア事業

(i) LINE スタンプ

渋谷の観光資源を活用し世界に向けて渋谷の魅力を発信する「渋谷区公認スーベニア事業」の取り組みとして、渋谷区観光協会公式キャラクター「SHIBUYA♡HACHI（シブヤラブハチ）」のLINEスタンプ第2弾の販売を2019年9月11日（水）に開始しました。

(ii) SHIBUKURO

2019年6月「SHIBUKURO＝シブヤのフクロ」プロジェクトをスタートしました。SHIBUKURO カラータグが特徴である袋の売上の一部を、渋谷区の課題解決あるいは未来づくりに還元する仕組みの検討を通じて、約5000枚を販売しました。

次年度も引き続き、渋谷区内の祭りやまちびらき、学校法人など、様々な主体と共創しながらプロジェクトの価値を高めていきます。

主な本年度コラボレーション企業・団体

カシオ計算機、DAZN、Plug&Play、TSUTAYA、JVC ネットワークス、道玄坂青年会（道

玄坂盆踊り 2019)、まちびらき実行委員会 (neoSHIBUYA) 等

(iii) 体験型お土産

二つの社会実験事業を行いました。

表 12 体験型お土産主な活動

日付	内容
2019年6月3日～16日	渋谷と民間企業のコラボレーションから新しい渋谷土産“体験”を作る社会実験「SHIBUYA MIYAGE LAB」 この取り組みは、“それぞれの成長を、一生よろこべる街へ”をテーマに、教育・生涯学習分野における知識の提供や興味を高めてもらうことが目的
2019年6月10日～16日	『SHIBUYA RUNNERS』「思わず身体を動かしたくなる街へ」 昼も夜も渋谷にはたくさんの“遊び”があるが、朝の渋谷には“遊び”がない。そこで渋谷の朝を、ランニングで探検し、まだ見ぬ渋谷の魅力を探していくコミュニティ『SHIBUYA RUNNERS』を展開。 渋谷川沿いストリートが《学びの場》に。社会人の学びや気付きを得る体験を“お土産”にする 企画 ①教育制度はどう変わる？ 企画 ②わくわく！ iPad を活用した STEM プログラミング教育体験 企画 ③渋谷を数字から学ぼう！クイズに参加して渋谷の知識を高めよう。

⑧ 都市間連携事業

(i) 広島県都市間連携

2012年から中学校教育で必修化された「ダンス」は、専門家が地方に少ないことから教育水準に差が生まれる課題を解決するため、5Gテクノロジーを活用した、渋谷と広島をネットで結びリアルタイム教育の実験を11月9日に実施しました。参加した中学生からは、今後も全国の仲間とレッスンを受けたいとの声がありました。

タイトル：渋谷×広島 5G 遠隔ダンスレッスン

日時：2019年11月9日（土）13:00～14:30

場所：渋谷会場：SHIBUYA QWS、広島会場：イノベーションハブ・ひろしま Camps

講師：Shingo Okamoto 氏

監修：岡本和隆氏

(ii) 深圳市南山区都市間連携

昨年に引き続き、渋谷区と中国広東省・深圳市南山区が連携しイノベーションを推進する施策として、南山区のスタートアップ向け国際的ピッチ大会の日本予選「The 2019 Innovation Nanshan Entrepreneurship Star Contest Shibuya」を2019年8月22日に開催しました。

国内予選の結果、BionicM(株)「ロボット義足」とトリプル・ダブリュー・ジャパン(株)「排泄予測デバイス」が、2019年11月16日に深圳市南山区で開催された世界大会「The 2019 Innovation Nanshan Entrepreneurship Star Contest」に日本代表として参加。世界大会では、Bionic(株)がスタートアップ部門の2位を受賞し、また優れたイノベーション企業に送られるイノベーション企業賞もあわせて獲得しました。

また、昨年度、同大会で3位を受賞した(株)エアロネクストは、その後南山区政府の支援を受けて深圳での事業を拡大し大きく前進しており、ドローンの社会実装を加速させるため、深圳市の南方科技大学と共同で研究開発ラボを設立することを決定。本大宇会が渋谷から世界へ進出する大きな足掛かりとなりました。

(iii) 札幌市都市間連携

札幌市で開催されている「No Maps」イベントに特別協力として参加しました。また札幌からSIW2019に登壇していただきながら、札幌で開催された「渋谷×札幌」のトークイベントにFDSが参加する(10月)など、両者で相互にコンテンツ提供協力や事業推進連携を実施しました。

次年度も引き続き、連携強化に向けて調整を行っていきます。

(iv) 先進都市視察・研究

データアナリティクスに関する知見を深めるため、スマートシティの先進都市であるバルセロナ市を視察した。世界最大のスマートシティ見本市であるSmart City Expo World Congressに参加し最先端のスマートシティ技術を体験するとともに、バルセロナ市のICT部門、まちづくり部門、公共施設運営部門にヒアリングを実施した。また、渋谷区とバルセロナ市の都市間連携について協議を行った。今後は、渋谷区がバルセロナ市を訪問し、連携関係を構築していく見込み。

次年度も、引き続き、先進的な事例などを視察・調査する。

⑨ 情報発信事業

(i) 情報発信・広報宣伝

FDSサイトのアップデートを行い、アクセス増に向けた認知度向上を目指しました。また連携サイトとのコミュニケーションを強化するとともに、情報発信担当人材の強化やFDS事業の情報発信方法の工夫そして、プロジェクトのアウトプット付加価値を高める戦

略を実施検討しました。Webサイト上で更新されるFDSニュースも大手ニュース配信サイトと連携し、自動的にアップデート配信ができる仕組みを導入しました。

参考成果：SIW2019サイトでは約5億リーチを記録することができました。

(ii) 広告イベント案件

単発イベントや広告宣伝収入を見込んだ事業の実施や、公益性の高い広報案件等を受託しました。

⑩ 新規事業研究

(i) 新規・防災プロジェクト

9月13日に「SIW2019×災害仮設住宅ワークショップ」を開催しました。

専修大学ネットワーク情報学部教授が主催する本ワークショップでは、普段自分事にはなりにくい「仮設住宅」にフォーカスを当てて、ソーシャルイノベーションを参加者とともに考えました。参加者からのアイデア等はとりまとめられて、東京都で進められている「首都直下地震後の仮設住宅不足への対応準備」事業に専修大学が提案しました。

3 パートナー企業に関する事項

FDS 設立に関わった参画パートナーと協力パートナーは全 22 社で表 13 の通りでした。

表 13 パートナー企業一覧 (年度末現在)

参画パートナー(計 15 社)	協力パートナー(計 7 社)
渋谷区、株式会社アカツキ、株式会社 NTT ドコモ、京王電鉄株式会社、株式会社シブヤテレビジョン、ソニー株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社デジタルガレージ、東急不動産株式会社、東京急行電鉄株式会社、株式会社日建設計、株式会社パルコ、株式会社バンダイナムコアーツ、株式会社みずほ銀行、レノボ・ジャパン株式会社	株式会社 AOI Pro.、株式会社エッジ・オブ、日本マイクロソフト株式会社、一般財団法人渋谷区観光協会、eiicon company、en one tokyo 株式会社、株式会社フルハウス

FDS の事業共有と参画パートナー間の交流を目的として、パートナー・特別法人会員を対象に、2019 年 12 月 17 日にパートナー会議を実施しました。

4 会員に関する事項

本年度新たに会員となった企業は次の通りでした。

表 14 会員企業一覧 (年度末現在)

特別正会員(計 7 社)	正会員(計 15 社)	賛助会員(計 4 社)
アサヒビール株式会社 (正会員より変更)、株式会社イープラス、株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ (正会員より変更)、東京ガス株式会社、日本電気株式会社、株式会社外ブーマー、LIVE NATION JAPAN 合同会社	株式会社 IMAGICA GROUP、エイベックス・エンタテインメント株式会社、江崎グリコ株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・アド、株式会社協和エクシオ、Creative Project,inc.、cycle&design 株式会社、JTB 株式会社、株式会社スポーツビズ、ダイキン HVAC ソリューション東京株式会社、DAZN Japan Investment 株式会社、株式会社 TAMARIBA、株式会社ディレクションズ、プランティオ株式会社、株式会社ロースター	株式会社あかりプレイス、株式会社 DRAMATIC WORKS、有限会社長久保保険設計、特定非営利活動法人バイシクルエコロジージャパン

5 役員に関する事項

理事 7 名、監事 1 名の 8 名が役員総数です。役員の様子は表 15 の通りです。

表 15 理事一覧 (年度末現在)

氏名	地位および担当	重要な兼職
小泉秀樹	代表理事	東京大学教授
佐藤仁	理事	東京商工会議所渋谷支部会長
大西賢治	理事	渋谷区商店会連合会会長
浜田敬子	理事	BUSINESS INSIDER JAPAN 統括編集長
金山淳吾	業務執行理事	渋谷区観光協会理事長
佐藤新子 (長田新子)	業務執行理事、事務局次長	
須藤憲郎	業務執行・常務理事、事務局長	
太田諭哉	監事	日本公認会計士協会東京会渋谷会会長

6 Future Designer に関する事項

パートナー企業、特別正会員企業、賛助会員が提案する事業案件について、多様な視点から事業化の方向性を決める特別アドバイザーメンバーです。メンバーは全8名で表16の通りです。

表 16 Future Designer 一覧 (年度末現在)

氏名	所属
大日方 邦子	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長
齋藤精一	株式会社ライゾマティクス代表取締役
左京泰明	特定非営利活動法人シブヤ大学代表理事
佐藤夏生	株式会社 EVERY DAY IS THE DAY 共同代表
夏野剛	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究所特別招聘教授
野村恭彦	Slow Innovation 株式会社代表取締役
林千晶	株式会社ロフトワーク代表取締役
若槻千夏	タレント・デザイナー

FDS の事業進捗の共有と戦略的視点での事業方針等について助言をいただく場を、2019年12月17日に実施しました。

7 会議に関する事項

実施された社員総会と理事会は表 17 の通りでした。

表 17 社員総会一覧

(年度末現在)

種別	日付	場所	出席	議案
社員総会				
第 1 回	2019 年 5 月 30 日	渋谷区商 工会館第 一会議室	理事 6 名 監事 1 名 社員 3 名	第 1 号議案 第 1 期計算書類承認の件 第 2 号議案 理事及び監事の報酬額の決定及び役員 等の職務及び報酬等に関する規程の変更に関する件
臨時	2019 年 11 月 14 日	渋谷区商 工会館第 一会議室	理事 5 名 監事 1 名 社員 3 名	第 1 号議案 定款の変更について
理事会				
第 7 回	2019 年 5 月 30 日	渋谷区商 工会館第 一会議室	理事 7 名 監事 1 名	第 1 号議案 2018 年度事業報告について 第 2 号議案 2018 年度決算報告について 第 3 号議案 2019 年度事業計画について 第 4 号議案 2019 年度収支予算について 第 5 号議案 会員等申込について 第 6 号議案 役員等の職務及び報酬に関する規程に ついて
第 8 回	2019 年 8 月 6 日	渋谷区商 工会館第 一会議室	理事 6 名	第 1 号議案 2019 年度収支予算計画について 第 2 号議案 フューチャーデザイナー選任について 第 3 号議案 会員等申込について
第 9 回	2019 年 11 月 14 日	渋谷区商 工会館第 一会議室	理事 5 名 監事 1 名	第 1 号議案 定款の変更について 第 2 号議案 事務所所在地に変更について 第 3 号議案 渋谷公園通商店街振興組合入会につい て 第 4 号議案 情報セキュリティ管理規程について 第 5 号議案 会員等申込について 第 6 号議案 臨時社員総会招集について
第 10 回	2020 年 3 月 27 日	書面決議		第 1 号議案 渋谷未来デザイン就業等規程について 第 2 号議案 会員等の申込及び承認フローについて 第 3 号議案 2020 年度事業計画書について 第 4 号議案 2020 年度予算計画書について 第 5 号議案 理事の利益相反取引の承認について 第 6 号議案 事務局長の選任について

また、渋谷区産官学民連携組織評議員会は表 18 の通り開催されました。

表 18 渋谷区産官学民連携組織評議員会 (年度末現在)

日付	場所	出席評議員	所属	議案
2019 年 6 月 5 日	渋谷区役所 8 階 813-1・2 会議 室	三木義一(座長) 高橋裕子 星野大作	青山学院大学学長 津田塾大学学長 渋谷区経営企画部長	議題 1 平成 30 年度事業概要と 収支 議題 2 令和元年度事業概要